

世界史探究

世界史探究

〔I〕 次の文章を読み、後の問（1～5）に答えよ。

中国の歴史の展開には、しばしば北方の遊牧民が大きな作用をおよぼした時期があった。3～7世紀もその一つである。

2世紀末、天候不順とそれを一因とした反乱により、後漢は弱体化した。混乱の中から各地に群雄が登場し、その中から台頭した（ 1 ）が後漢の実権を握った。（ 1 ）の子が220年に皇帝となり、①魏を建国した。これに対し、四川に蜀、江南に呉がたち、三国時代に入った。魏は蜀を滅ぼしたが、実権を握った臣下の司馬氏が、（ 2 ）を都として晋（西晋）をたてた。西晋は280年に呉を滅ぼしたが、皇帝一族の争いから国内が混乱した。

この混乱の最中に（ 3 ）の勢力が自立し、西晋を滅ぼした。その後、華北（北中国）では、（ 3 ）など「五胡」と総称される遊牧民が王朝を建て、興亡を繰り返す五胡十六国時代が5世紀半ばまで続いた。一方、江南には西晋の皇帝一族・官僚が逃れ、東晋をたてた。②東晋ののち、江南には「南朝」と総称される四つの王朝が興亡した。また、南朝に三国の呉、東晋を加えて「六朝」と呼ぶ。

5世紀半ばには五胡の一つである（ 4 ）の北魏が華北を統一した。北魏は（ 5 ）の時代に、都を（ 2 ）に移し、胡服を禁止するなど漢化政策を進めた。また、（ 5 ）は、一定の年齢に達した者に土地を支給する（ 6 ）を施行した。この（ 6 ）は土地支給の基準を変えて唐代に継承された。

漢化政策に不満を持った北方遊牧民の反乱をきっかけに北魏は東西に分裂し、さらにそれぞれの国家が北斉・北周に取って代わられた。北魏以降のこれら諸王朝を「北朝」と総称する。

五胡十六国から北朝の時代は、「仏教の時代」でもあった。③五胡十六国時代には、西域出身の僧侶が、漢人僧を育成したり、仏典を漢語に訳したりした。仏教美術の面では、雲崗・敦煌や、（ 2 ）近郊の竜門には石窟寺院が作られた。中国にとって外来宗教である仏教は、漢人・胡族の違いを越えて国家統合を進めるために重要であった。一方、④この仏教の隆盛に刺激を受けて、中国古来の民間信仰と神仙思想とをもとにした宗教がこの時代に成立した。

問1 空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる語句をそれぞれの【語群】から選び、記号で答えよ。

空欄 【語群】

- | | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| （ 1 ） | ア 劉備 | イ 曹操 | ウ 孫権 |
| （ 2 ） | ア 洛陽 | イ 長安 | ウ 平城 |
| （ 3 ） | ア 東胡 | イ 烏孫 | ウ 匈奴 |
| （ 4 ） | ア 柔然 | イ 鮮卑 | ウ 突厥 |
| （ 5 ） | ア 孝文帝 | イ 太武帝 | ウ 武帝 |
| （ 6 ） | ア 均田制 | イ 三長制 | ウ 占田・課田制 |

問2 下線部①について、魏が施行した人材登用制度について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

魏の九品中正制度（九品官人法）は、a それまでの科挙に代わって施行された。
これにより、b 南北朝時代を通じて世襲による人材登用は抑制され、才能重視の人事が行われた。

- | | |
|-----------|-----------|
| ア a—正 b—正 | イ a—正 b—誤 |
| ウ a—誤 b—正 | エ a—誤 b—誤 |

問3 下線部②について、六朝に関する次のア～エのうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 呉は建業に都を置き、建康と改称されたこの地は続く五つの王朝の都にもなった。
- イ 東晋の王羲之は画家として名高く、「女史箴図」を描いた。
- ウ 法顕はインドに赴いて仏典を中国に持ち帰り、東晋でそれらを漢訳した。
- エ 梁の昭明太子は名詩・名文を集めた『文選』を編纂した。

問4 下線部③について、この時代の西域僧の名として正しいものを、下のア～エから二つ選び、全て記号で答えよ。

ア 鳩摩羅什 イ 孔穎達 ウ 仏図澄 エ 銭大昕

問5 下線部④について、北魏の時代に寇謙之が教団を形成したこの宗教をなんというか答えよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、後の問（1～3）に答えよ。

属州ブリタニアとしてローマ帝国の支配を受けたこともある大ブリテン島に侵入したゲルマン民族の一部族（ 1 ）人は、ヘプターキー（七王国）を建国して競い合っていたが、9世紀に入ってその中のウェセックス王エグバートが初めて統一国家を樹立した。その後、北方から襲撃を繰り返す（ 2 ）人の一派（ 3 ）人の侵入にさいなまれるようになった。9世紀末に出た（ 4 ）が一時的に侵入を阻止したが、1016年に（ 3 ）人の王子（ 5 ）に征服された。その後、いったん（ 1 ）王国が復活したが、1066年に王位を主張して侵入したノルマンディー公（ 6 ）はハースティングズの戦いで Harold を破ってイングランドを征服し、（ 6 ）1世として即位した。（ 2 ）朝の成立である。

（ 2 ）朝の統治下で、イングランドでは①封建制度が確立されるが、（ 7 ）1世の後を継いだステイーブンの治世に王位をめぐって内乱が起き、1154年に（ 7 ）1世の孫であるフランスのアンジュー伯が（ 7 ）2世として即位し、（ 8 ）朝を開いた。（ 7 ）2世の治世には、フランスのアキテーヌ女公アリエノール・ダキテーヌとの結婚を通じて、フランスの西半分とイングランドにまたがり、「アンジュー帝国」とも称される広大な国家が現出したのだが、②第3代王（ 9 ）は（ 10 ）2世と戦って敗れ、フランスの領土の大半を失った。

問1 空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部①について、この制度の下で確立された主従関係は、古代末期ローマ社会とゲルマン社会で既に見られた制度が結びついて生まれたと考えられているが、その名称をそれぞれ答えよ。

問3 下線部②について、この人物は1215年に貴族らの権利を認める勅許状の承認を強いられるが、この勅許状の名称を答えよ。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、後の問（1～4）に答えよ。

18世紀末のフランスでは、①少数派の第一身分と第二身分のみが特権を享受し、国民の大半を占める第三身分の人々は政治的には何の権限も持たなかった。1789年、国王（ 1 ）は課税問題をめぐって（ 2 ）を招集したが、投票の方法をめぐって第一・第二身分と第三身分が対立したため、後者は自らを（ 3 ）と称し、憲法が制定されるまで解散しないことを誓った。これに対し、国王が軍隊を招集して圧力をかけようとしたため、パリ市民は7月14日に（ 4 ）を襲撃した。翌月、（ 3 ）は封建的特権の廃止を宣言し、さらに②（ 5 ）を採択した。

1791年9月に制定された憲法では、立憲君主主義が定められたのだが、翌年新憲法のもとで行われた選挙で成立した（ 6 ）では、共和主義を奉じるジロンド派が政権を獲得した。この政権は、革命の波及を恐れて警戒するオーストリアに宣戦を布告したが、国内が混乱状態にあるフランスは戦局を優位に進めることができなかった。

その後、1792年に成立した（ 7 ）で王政廃止が宣言され、これによって（ 8 ）が始まった。しかし、（ 9 ）による恐怖政治、さらには③それに反対する勢力による反動が起こるなど、政局は安定しなかった。時代は、強力な指導力を持つ人物の出現を求めている。そこに登場したのが、後に皇帝に即位することになる軍人（ 10 ）であった。

問1 空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部①について、この体制の名称を答えよ。

問3 下線部②について、この起草者であり、アメリカの独立戦争にも従軍した貴族の名を答えよ。

問4 下線部③について、この出来事の名称を答えよ。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、後の問（1～5）に答えよ。

1914年にはじまった第一次世界大戦は、東アジアにも大きな影響を与えた。当時、中国では①清はすでに革命によって倒れ、中華民国が成立していた。中華民国は協商側で参戦したが、日本は、ヨーロッパ列強が本国での戦争に国力を削いている隙をぬって中国における権益を拡大しようとした。

大戦は1918年に終わり、中国は戦勝国として講和会議に参加した。しかし、②大戦中に日本が中国に行った要求の取り消しや、列強との不平等条約の改正は講和会議で認められなかった。このことに対して学生を中心に抗議の声が上がり、1919年にデモがおこった。これが（ 1 ）運動である。（ 1 ）運動は全国に広がり、これをうけて中国政府は第一次世界大戦の講和条約への調印を拒否した。同じころ、朝鮮でも独立運動家や学生が日本の統治に対するデモを展開した。これが（ 2 ）運動である。（ 2 ）運動後も、③朝鮮人の独立運動は海外に拠点を置いて行われた。

第一次大戦中の中国では、国外のさまざまな思想が知識人に影響をあたえ、大戦後にかけて新文化運動と呼ばれる運動が展開した。新文化運動は、従来の政治・社会・文化のあり方に批判を加えるもので、（ 1 ）運動にも影響をあたえた。（ 3 ）らは雑誌『新青年』を刊行し、儒教の影響が強い中国の政治・社会に対する批判を展開した。（ 4 ）は口語による文学を提唱する白話運動を展開した。また、新文化運動にたずさわった者の中にはマルクス主義に傾倒する者があらわれ、（ 3 ）は1921年に中国共産党を結成した。

一方、1919年に中国国民党を結成した孫文は、ソ連の支援を受けるとともに国内の共

産勢力との連携を図った。1924年には共産党員がその籍を残したまま国民党に入党できるように規約を改めた。これを（ 5 ）という。1925年に孫文が死去した後、国民党は広州に国民政府を樹立し、1926年には国内統一を目指して北伐を開始した。しかし、共産党との連携に否定的であった（ 6 ）は、北伐の最中に上海でクーデタを起こし、共産党員を弾圧した。

国民党内を掌握した（ 6 ）は南京に国民政府を樹立し、1928年には北京政府の張作霖を敗走させた。張作霖は根拠地の東北地方に逃れる途中で日本軍に爆殺された。張作霖のあとを継いだ（ 7 ）は、（ 6 ）の国民政府による支配を認め、国民政府による全国統一はひとまず達成された。一方、共産党は都市部での蜂起に失敗して農村部に撤退し、1931年には江西省山岳部の（ 8 ）を首都とする中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。（ 6 ）は④日本との全面的な対立を避け、共産党の制圧に力を注ぐ方針を取り、共産党はやがて（ 8 ）の根拠地をも失うこととなった。

問1 空欄（ 1 ）～（ 8 ）にあてはまる語句を下の【語群】から選び、記号で答えよ。

【語群】

ア 陳独秀	イ 梁啓超	ウ 張居正	エ 蔣介石
オ 毛沢東	カ 汪兆銘	キ 張学良	ク 胡適
ケ 三・一	コ 五・四	サ 五・三〇	シ 八・一
ス 瑞金	セ 延安	ソ 統一と進歩委員会	
タ 第一次国共合作			

問2 下線部①について、次の（1）（2）に答えよ。

- （1）1911年に起きたこの革命をなんというか答えよ。
- （2）滅亡前の清に関するに次る次のア～エを、年代順に並べ替え、記号で答えよ。
- ア 義和団が蜂起すると、清はこれを支持して列強に宣戦布告した。
- イ 康有為らを登用し、戊戌の変法が実施され、京師大学堂が設置された。

- ウ 西太后のもとで光緒新政が行われ、立憲君主制を目指す方針が決められた。
- エ 北京議定書が結ばれ、列強は公使館保護を名目に北京に軍を駐屯させる権限を得た。

問3 下線部②について、次の（1）（2）に答えよ。

- （1）この要求の内容について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

日本は a 山東半島におけるドイツの権益を日本に譲渡すること、b 日清戦争で日本が得た南満洲鉄道の返還期限を延長することなどを要求した。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a—正 | b—正 | イ | a—正 | b—誤 |
| ウ | a—誤 | b—正 | エ | a—誤 | b—誤 |

- （2）この要求に抵抗しきれず認めたことで世論の批判を受け、それをかわして政権を固めるために帝政復活を企てた、当時の中華民国大總統の名前を答えよ。

問4 下線部③について、朝鮮人による独立運動について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

上海に a 大韓民国臨時政府 が作られ、b のちに大韓民国の大統領となる李承晩 が首班をつとめた。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a—正 | b—正 | イ | a—正 | b—誤 |
| ウ | a—誤 | b—正 | エ | a—誤 | b—誤 |

問5 下線部④について、1931年から1932年にかけて、中国東北部において中国と日本との間で生じていた事態を、「柳条湖事件」「溥儀」という語を用い、60字以内で説明せよ。